

TLP:CLEAR

2024 年度
第 1 四半期レポート

2024 年 7 月 30 日

一般社団法人 Japan Automotive ISAC

目 次

【第1章】 運営委員会からの活動報告.....	3
1. 定時社員総会	3
2. 24年度第1四半期に入会いただいた新規会員	4
【第2章】 技術委員会からの活動報告.....	5
■ はじめに	5
1. 24年度活動計画と実績報告	6
2. 【トピック報告】第3回活動報告会（'24/5/31開催）	7
【第3章】 サポートセンターからの活動報告.....	9
1. 「サイバーセキュリティ診断」について.....	9
2. 「お困りごと相談室」を定期開催.....	10
3. パートナー会員との連携を強化	12
4. ホームページのアクセス向上施策.....	13
【第4章】 SOC（セキュリティオペレーションセンター）からの活動報告.....	14
1. 2024年度 第1四半期の概要.....	14
2. SOC新情報DBの運用状況.....	16

【第1章】運営委員会からの活動報告

1. 定時社員総会

2024年6月28日に、品川フロントビル B1Fと Teams を用いて第7回定時総会を実施しました。前半セミナー、後半社員総会（+懇親会）の構成で約8時間にわたり開催しました。

1) セミナー（11:00～14:50）

当法人賛助会員・パートナー会員に登壇いただき、車のサイバーセキュリティに関係する13の幅広いテーマでセミナーを開催しました。2つの会場に分かれ、延べ1,314名の方に聴講いただきました。

延べ参加者数：1,314名（会場参加 582名／Teams参加 732名）

セミナーA会場		セミナーB会場	
No.	講演タイトル	No.	講演タイトル
A1	IoTセキュリティ関連サービスのご紹介	B1	ASM(Attack Surface Management)を活用したグループ会社及び取引先のセキュリティマネジメントについて
A2	自動車部品産業における継続した脆弱性管理	B2	AI時代のサイバーセキュリティ
A3	2024年サイバーセキュリティレポートから読み解く現状必要な対策	B3	2024 オープンソース・セキュリティ&リスク分析(OSSRA) レポート概説
A4	デジタル・フォレンジック入門 ～フォレンジック調査士の業務内容を紹介～	B4	効果的なPSIRT体制構築 － 組織特性を考慮した適切な選択 －
A5	監視・ログ設計の課題、及び車両監視に向けて	B5	内製化と外部人材活用の最適な組み合わせとは？ ～人材事業者グループに所属するエンジニアリング会社の実績から～
A6	サプライチェーンリスクの現状と、効果的リスク管理へのヒント		
A7	Pwn2Own Automotive ～ゼロデイ脆弱性の早期発見のための取り組みの紹介～	B6	SBOMツールに関する取組ご紹介

2) 社員総会（15:20-17:20）／ 懇親会（17:40-19:30）

社員総会では運営委員会をはじめ、各活動の実績と今後の取組を中心に説明し、5つの議案を審議いただき、可決しました。その後の懇親会では、業務の中では接する機会のない各社会員の皆さまとあつちあつ、親睦を深める充実した時間となりました。

社員総会参加者数：196名（会場参加 112名／Teams参加 84名）



懇親会参加者数：89名

2. 24年度第1四半期に入会いただいた新規会員

新規入会会員

- ・OEM 会員 株式会社クボタ
- ・シルバー会員 新電元工業株式会社
- ・賛助会員 NTT セキュリティ・ジャパン株式会社

※2024年6月30日時点の会員数 116社 + 学会会員 2名

新規会員からの一言（株式会社クボタ）

セキュリティ対応に関しては自動車業界に学ばせて頂く機会が多いかと存じますが、農機・建機特有の取り組みも大いに皆様のお役に立てるであろうとの考えのもと、積極的に活動に参加したいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

以上

【第2章】技術委員会からの活動報告

■ はじめに

技術委員会では、24年度の活動計画に則ってWG/SWGの活動を推進してきています。SWGは技術委員会傘下に11の活動をしていますが、それぞれの活動を進める中で出てきた課題の解決策と、活動のさらなる充実と拡大に向けた施策を、引き続き「TC 課題検討 TF」で協議しています。

今回は、その施策の一つである第3回活動報告会を5月31日（金）に実施しているのです、その様子を本章のトピックとして報告します。

現在までの技術委員会活動人員の推移を表2に示します。

表1 技術委員会活動人数の推移

委員会/WG/SWG	発足時点 (21.6月末)	定期総会 (22.6.24)	活動報告会 (23.5.31)	活動報告会 (24.1.16)	活動報告会 (24.5.31)	定期総会 (24.6.28)	前回比増減
技術委員会							
延べ参加人数	258	334	370	359	324	328	(31)
委員会活動参加企業数/会員企業総数	66/88	78/100	83/111	81/110	79/115	81/116	2
情報共有WG	115	128	121	111	102	103	(8)
インシデント対応事例検証SWG	47	47	43	34	33	32	(2)
脆弱性対応SWG	55	65	64	65	55	57	(8)
グローバル連携SWG	11	12	11	10	12	12	2
スキルアップWG	88	108	105	102	93	94	(8)
協同演習SWG	17	18	20	20	20	22	2
個別研修SWG	20	26	22	20	17	16	(4)
ベストプラクティス策定SWG	26	32	33	34	31	32	(2)
セキュリティ人材育成SWG	25	29	27	26	23	22	(4)
課題抽出&解決推進WG	55	78	111	113	98	100	(13)
サプライチェーンリスク対応SWG	33	38	34	32	28	29	(3)
データベース&ポータル機能拡張検討SWG	11	14	10	10	廃止	廃止	-
情報共有プラットフォームSWG	11	13	14	14	12	12	(2)
フォレンジック検討SWG ('22.4.28発足)	-	11	13	13	14	15	2
SBOM-SWG	-	-	38	42	42	42	0
用語定義TF ('21.12.3発足)	-	12	13	13	10	10	(3)
法規動向調査TF ('22.4.21発足)	-	8	8	8	7	7	(1)
課題検討TF('23.8.28発足)	-	-	6	6	8	8	2

赤字 () は減少

技術委員会延べ参加人数は、若干減少しています。24年度は11のSWGと3つのTF活動を継続します。活動報告会等を通して各活動における成果に加え、新たな取り組みを紹介することで、会員に価値・魅力を示し参加を促すことで持続的な活動としていきます。

以下に24年度の活動計画と実績、トピック報告を記載します。

1. 24 年度活動計画と実績報告

1) 24 年度活動計画

表 2 24 年度実施項目

実施項目
1)技術委員会の戦略策定 業界に必要なサイバーセキュリティ対応能力の強化に向けた戦略の策定
2)成果物の発行 技術委員会傘下 11 の SWG と 3 つの TF 活動を通じて参加会員の活発な意見交換やナレッジ共有を継続すると共に参加各社のサイバーセキュリティ対応能力の強化に貢献出来る成果物の発行

本計画（実施項目）に基づき、具体的な目標と取り組み方策を明確にして実行し、技術委員会活動をさらに発展させていきます。

2) 技術委員会活動成果物、社外発表等活動の報告

表 3 活動成果物一覧（発行成果物と発行予定）

時期	成果物
2024 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・技術委員会マニュアル V1.00 ・第 3 回技術委員会活動報告会（各 SWG 活動報告書）
2024 年 6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・JAMA/JSAE/JASPAR との MOU 締結
2024 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・SBOM ガイド（初版） ・第 3 回協同演習の開催（@2024.7.5） ・脆弱性分析レポート#1 ・クルマのサプライチェーンにおけるサイバーセキュリティ取り組みガイド V2.0（外部公開）
2024 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・インシデント事例分析レポート#1・協同演習結果速報
2024 年 10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・Auto-ISAC Cybersecurity Summit2024 レポート
2024 年 12 月	<ul style="list-style-type: none"> ・脆弱性分析レポート#2 ・インシデント分析技術レポートフォーマット ・協同演習結果レポート ・第 4 回技術委員会活動報告会（各 SWG 活動報告書）
2025 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・インシデント事例分析レポート#2 ・US との情報共有の在り方の提案
2025 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・脆弱性分析レポート#3 ・スキルチェックシート V2.0
2025 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・脆弱性対応（状況共有）テンプレート（TLP:GREEN 化） ・初学者の虎の巻（初めてのクルマのサイバーセキュリティ） ・クルマのサプライチェーンにおけるサイバーセキュリティ取り組みガイド（補足文書） ・デジタルフォレンジックの概要（IT とコネクティッドビークルの相違点） ・技術委員会 中長期計画 ・技術委員会活動ロードマップ

表 4 社外発表等の活動実績一覧

時期	外部講演、セミナー関係
2024年5月	・第3回技術委員会活動報告会
2024年6月	・第7回 J-Auto-ISAC 定時総会（会員・社員総会） ・ReVision ウェビナー「SDV 時代のサイバー・セキュリティに求められる対応とは」
2024年7月	・第4回サイバーセキュリティフォーラム ・自動車技術会フォーラム 2023（夏季）「自動車 CS 最前線」

24 年度も成果物の社内外への展開と、外部講演やセミナー等による積極的な発信を積み重ねていきます。

2. 【トピック報告】第3回活動報告会（'24/5/31 開催）

1) 目的・背景

SWG 活動の成果物、情報の共有を目的に、23 年度から年間 2 回のイベントとして「技術委員会活動報告会」を開催しています。

第3回活動報告会は、技術委員会の活動全体像と各 SWG の関係性、成果物に関する詳細説明（成果物発表）、更に各 WG/SWG の本年度の活動内容と目標に焦点をあてた構成としました。

第3回活動報告会：2024年5月31日（金）@品川フロントビル

2) 内容（資料については技術委員会内で公開中）

- ① インシデント事例検証 SWG
- ② 脆弱性対応 SWG（第2回技術委員会アンケート結果報告）
- ③ グローバル連携 SWG
- ④ ベストプラクティス策定 SWG
- ⑤ セキュリティ人材育成 SWG
- ⑥ 個別研修 SWG
- ⑦ 協同演習 SWG
- ⑧ 課題検討 TF
- ⑨ サプライチェーンリスク対応 SWG
- ⑩ 情報共有プラットフォーム検討 SWG
- ⑪ フォレンジック検討 SWG
- ⑫ SBOM SWG

- ⑬ 座談会「生成 AI の脅威と打つべき手 そして J-Auto-ISAC としての役割」
佐々木代表理事講演会
パネルディスカッション

3) 実施後のアンケート結果速報と効果

実施後に取ったアンケートの結果は技術委員会メンバー、技術委員会不参加の会員共に 100% が「他の WG/SWG の活動内容を知ることができた」としており、目的は果たせていると言えます。

今回座談会で取り上げた生成 AI は、各組織での活用検討が進められている領域であり、自動車に対して AI がどうあるべきか等が活発に議論されたこともあり、次回以降のテーマとしての要望が多く挙がりました。

また、報告会への参加人数や今後の活動をより良いものにしていくための改善提案を含むコメントを数多く得ることができていることから、各活動への関心の高さを再認識することができました。

以上

【第3章】サポートセンターからの活動報告

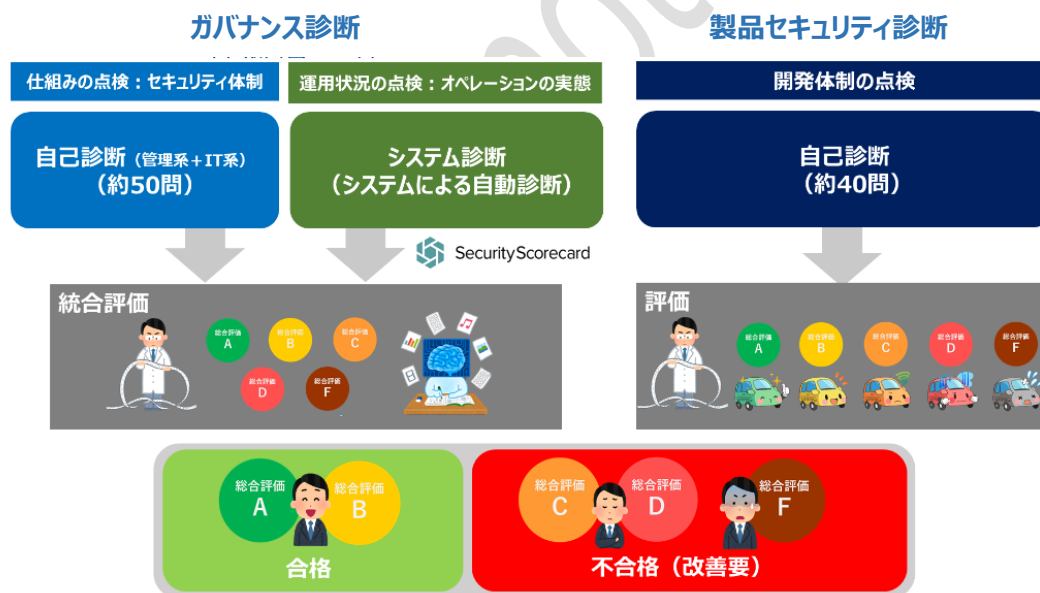
1. 「サイバーセキュリティ診断」について

<概要>

J-Auto-ISACでは、コネクテッドカーに関わるインシデント事例や脅威・脆弱性情報が会員間で共有されます。また活動の中で、他社の機密情報に触れる機会もあります。そこで当センターでは会員が相互に安全に、かつ安心して情報を共有できる“基盤づくり”の一環として「サイバーセキュリティ診断（簡易版）」を無償で実施しています。（一部の会員種別は除く）

サイバーセキュリティ診断は「ガバナンス診断」と「製品セキュリティ診断」から構成され、「ガバナンス診断」では、情報セキュリティに関する規程や推進体制といった仕組みの整備状況を問う“自己診断”に加えて、専用プログラムによる“システム診断”によって総合的に評価して合否判定します。

また「製品セキュリティ診断」では、コネクテッドカー開発体制の整備状況を評価して合否判定をします。



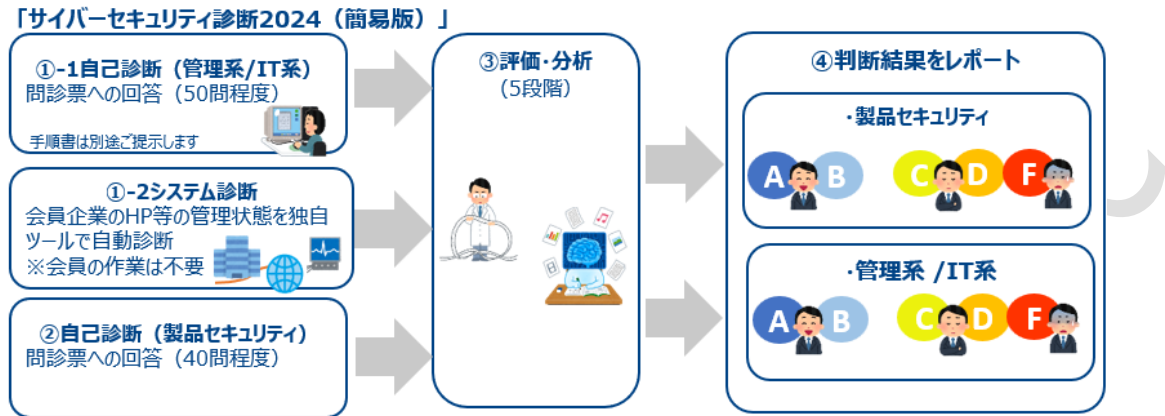
<本年度の実施について>

「ガバナンス診断」の内、「自己診断」については、新たに入会された会員に実施いただきます。また昨年度の診断で合格判定を受けていない会員（Cランク以下）については、カイゼン状況を個別確認させていただく予定です。

「システム診断」については、インターネットから攻撃を受けるアタックサーフェイスは状況が日々変化することより、全ての会員を対象として実施を予定しています。

「製品セキュリティ診断」は、新たに入会された会員と昨年度の診断で C ランク以下の会員に実施いただきます。

(学術・サポート・賛助の会員および一部の OEM は対象外です)



新規に入会された会員を対象に、6月にサイバーセキュリティ診断の趣旨や実施概要に関する説明会を開催しました。対象となる既存会員には7月中旬以降に診断のご案内を予定しており、9月以降より順次報告書を送付する予定です。また診断結果に基づき、個別ヒアリングを実施する予定です。

<2024年度の実施スケジュール>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
新規会員	ガバナンス・自己診断 システム診断報告書見直し		概要 説明会 申込受付 回答受領	報告書送付		随時申込受付 回答受領			
既存会員				申込受付 回答受領	報告書 送付	システム診断報告書作成 (全会員)	個別ヒアリング		

2. 「お困りごと相談室」を定期開催

昨年、数十社から要望があり、2023年10月より、新たな取り組みとして「よろず相談会」を開始しました。また「テーマが決まっていると相談しやすい」との声に応じて、2月以降はテーマを設定して隔週で開催しました。2024年度からは「お困りごと相談室」に名称を改めて、毎月フリーテーマで定期開催を実施しています。

<2023年・2024年の実施スケジュール>

実施日	2023年			2024年								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	25日 27日 ▲ ▲		13日 15日 ▲ ▲		14日 28日 ▲ ▲	6日 27日 ▲ ▲	17日 ▲	29日 ▲	29日 ▲	17日 ▲	実施予定 △	実施予定 △

毎回少人数での開催ですが、J-Auto-ISAC 内の活動に関する事から自社で困っている事など、幅広い内容でご相談をお寄せいただき、次のようなコメントを頂いております。

- ・悩んでいた事がクリアになったので良かった
- ・他の参加者とも意見交換ができて良かった
- ・毎回参加できるわけではないが、定期的な開催があれば参加したいので継続してほしい

会員企業の皆さまとコミュニケーションを取りながら活発な意見交換の場となっており、また問題意識を持って取り組んでおられる状況を知る事ができる貴重な機会となっております。またオンラインだけではなく対面で会話できる場が欲しいとのご意見をいただき、7月開催分からご希望に応じて品川オフィスにて面直で相談ができる場を用意しました。

フリーディスカッション形式で行っておりますので、気軽に参加して相談できる場として今後も継続いたします。

<実施状況>

主な相談内容	相談会での対応	参加企業のご感想
ISMSとCSMSの重なる部分の取り組みについて、意見交換をしたい	・ワークショップ的に意見交換	<ul style="list-style-type: none"> ・回答者目線での相談ができた ・他の会員と意見交換をすることで理解が深まった ・小グループで相談しやすかった ・今後も継続してほしい ・定期的な開催を希望 ・マンツーマンで相談できる場もあると良い ・面直で相談できる場もあると良い
レベル3の項目の妥当性や達成時期を教えてください	・意見交換を実施	
設問の解釈や回答内容の妥当性をチェックしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・自社でも回答者によってブレる ・取引先の回答のプレを無くしたい →パートナー企業のソリューションを紹介	
自社の判断が正しいか確認したい 設問の理解度、回答の制度を高めたい	・ワークショップ的に意見交換	
脆弱性情報を効率的に分析・仕分けする方法	・ワークショップ的に意見交換	
SIRTを組織する際の責任範囲などSIRT全般に関する意見交換をしたい	・意見交換を実施	
SOCから配信されている脆弱性情報に関する意見交換をしたい	・意見交換を実施	
申込手続きや問合せ窓口の確認など、J-Auto-ISAC内の事務手続き全般について教えて欲しい	・各種手続きについてサポート	
技術委員会の活動にある各SWGへの参加を検討しているが、不明点を解消したく相談したい	・技術委員会メンバーにオブザーバー参加いただき、意見交換を実施	

3. パートナー会員との連携を強化

<目的>

パートナー会員のサイバーセキュリティに関する知見を活用して、自動車産業のレベルアップや課題解決に繋がる施策を検討する。

<取り組み状況>

これまで以下のパートナー会員と意見交換を実施しました。

- ・ デロイトトーマツサイバー合同会社
- ・ エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
- ・ DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社
- ・ PwC コンサルティング合同会社
- ・ パーソルクロステクノロジー株式会社
- ・ 株式会社ラック

いずれのパートナー会員も本取り組みについて前向きに考えていただいている事がわかりました。特に J-Auto-ISAC やサプライチェーンへ貢献したいとの思いを知る事ができました。今回の意見交換をきっかけに、より具体的な取り組みについて検討を始められた会員もいます。

また他のパートナー会員とも協業の可能性についても検討していきます。

4. ホームページのアクセス向上施策

昨年度にリニューアルしたホームページのアクセス状況を収集・分析し、効果的にアクセス向上に繋がる取り組みを進めています。

まずは閲覧を促したい情報やコンテンツをトップページに掲載し、アクセスの向上を図りました。結果として掲載したコンテンツの閲覧数が増加しました。今後もホームページのアクセス向上と J-Auto-ISAC のアピールにつながる新たな施策を検討していきます。

<4 半期レポートの公開に合わせて掲載>



<TLP CLEAR として初公開した動画をピックアップ>



以上

【第4章】SOC（セキュリティオペレーションセンター）からの活動報告

1. 2024年度 第1四半期の概要

1) 脅威・脆弱性情報の報告件数

2024年1月から6月の91日間で提供された週次情報レポートの件数は、合計97件でした。その内訳は図1に示されています。脅威・脆弱性情報の報告件数は、2023年度の第4四半期と比較して、僅かに増加しています。なお、引き続き車両に関連する新たな重大な脅威・脆弱性情報やインシデントの発生はありませんでした。

- ① 脅威・脆弱性情報 57件
- ② 業界動向情報 40件

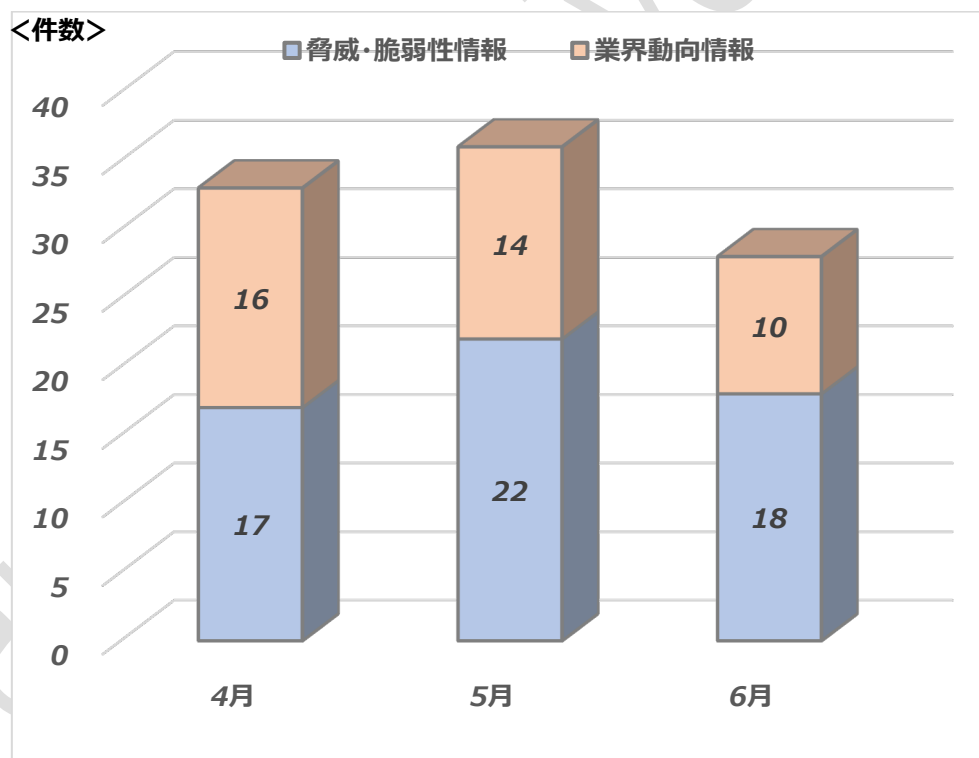


図1 週次情報レポート 提供件数

※脅威・脆弱性情報件数は、自動車に係わる情報のみであり、かつ同一案件を除く

2) 脅威・脆弱性情報レベル

第1四半期に報告された脅威・脆弱性情報を分類すると、図2の通りになります。要注意情報の件数は平均で月に8件でしたが、これは2023年度の第4四半期とほぼ同じです。

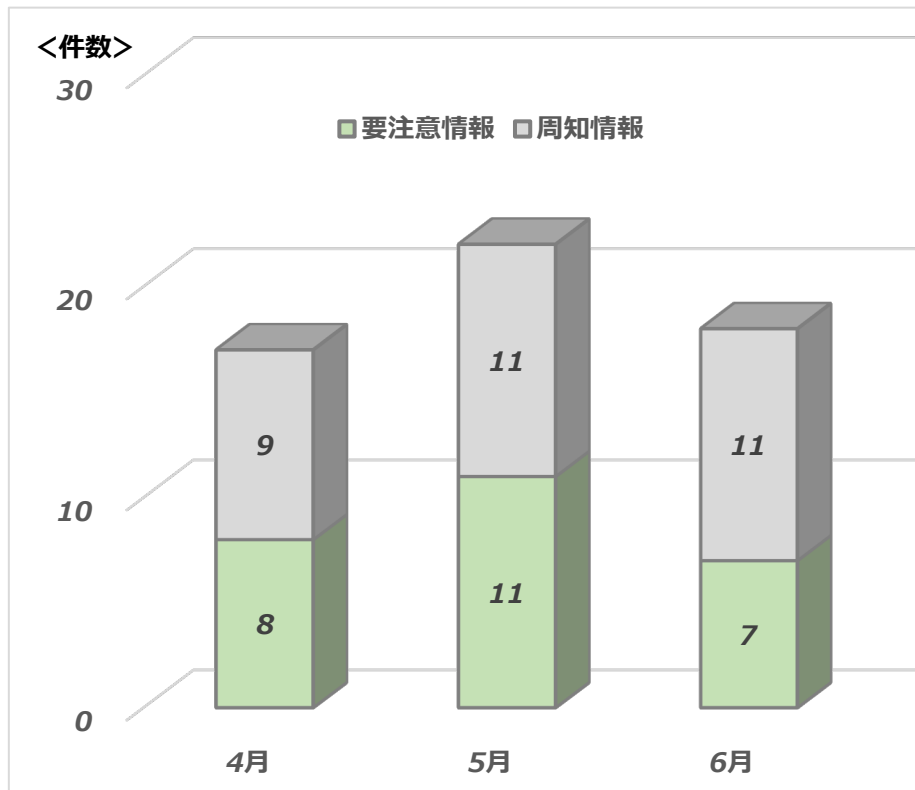


図2 脅威・脆弱性情報 レベル別件数

<参考>

※1.要注意情報：

自動車への関連性があるが影響度・攻撃可能性が高くない脅威・脆弱性情報

※2.周知情報：

注意すべきセキュリティニュースなど動向として認識すべき情報

※3.重大情報：

自動車への関連性があり、かつ影響度・攻撃可能性が高い脅威・脆弱性情報

2. SOC 新情報 DB の運用状況

2023年10月に運用を開始したSOC新情報DBの直近約1か月間の情報DBへのアクセス状況は図3のようになります。

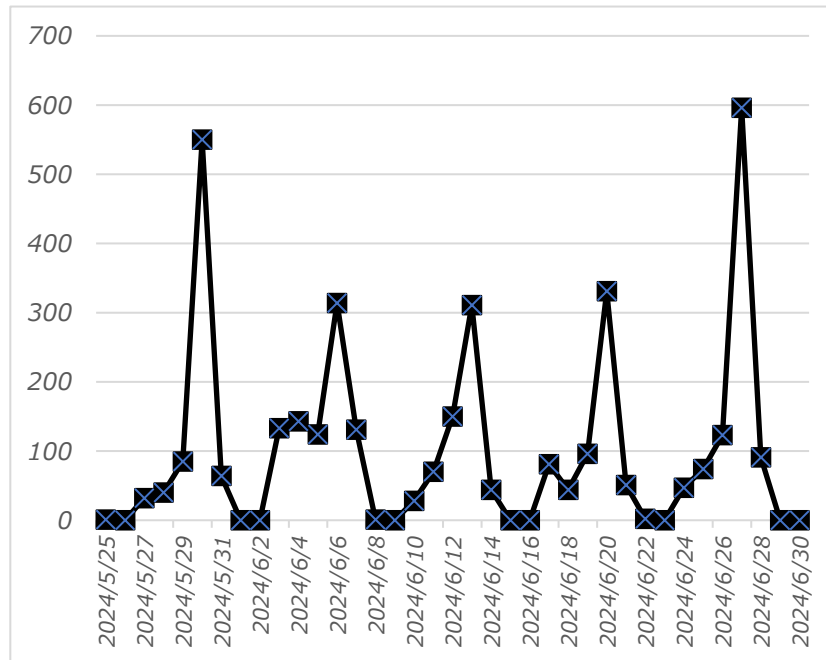


図3 情報DBへのアクセス件数

月次レポート及び週次レポートが同時に発行される月末は約600件のアクセスがあります。又、週次レポートが発行される毎週水曜日の翌日は、約300件のアクセスがあります。この傾向は運用開始以来、ほとんど変わっていません。

月末に週次レポートと月次レポートが同時に発行されることを考慮すると、週次と月次のそれぞれに約300件ずつのアクセスがあると言えます。

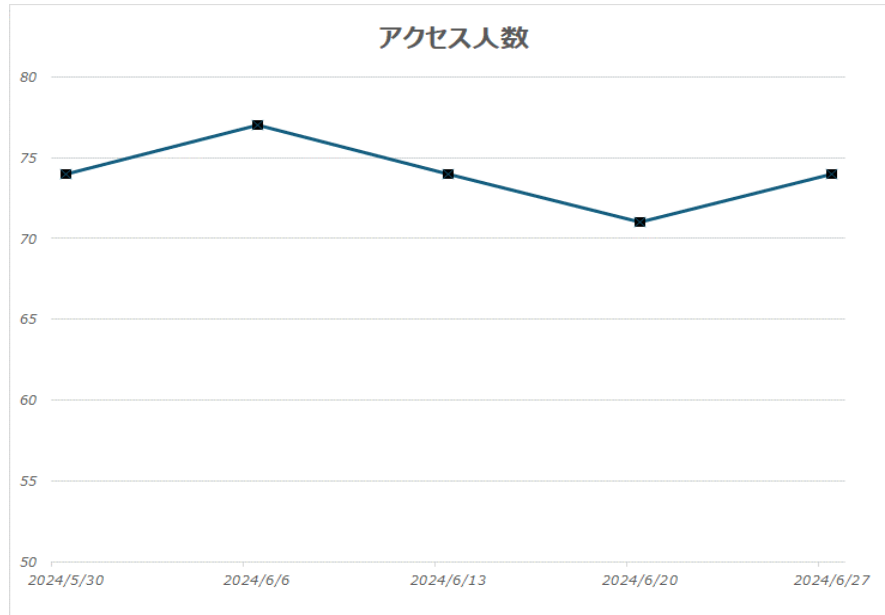


図4 情報 DB へのアクセス人数

また、レポートが公開された翌日の情報 DB へのアクセス人数は図 4 の通りです。これらの結果から、各レポートに対して平均的に約 75 名の方々が平均 4 回ほど閲覧をして頂いています。

今後も、アクセス件数と人数を定期的に確認し、情報 DB の活用度を継続的に把握し、情報 DB の改善に努めていきます。

以上



一般社団法人 Japan Automotive ISAC

〒108-6028 東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティA棟 28 階

e-mail : info@j-auto-isac.or.jp

<https://j-auto-isac.or.jp/>